

Vol.104

駅からのふるさと紀行 JR常磐線

は とり

羽鳥駅

← いし 石 岡 岩 間 →

●次回は12月27日の掲載予定です。 ※イラストはイメージです。



●駅東側の住民にとって念願だった東口が開設。新しい橋梁駅舎は駅名から鳥が羽ばたく様子をモチーフにしている。現在は東西のロータリーを整備中。



●自由通路に描かれた市民参画による ●西口にあった木造づくりの旧駅舎モザイクアート

念願の橋上駅舎が全面供用開始
空港があるまち唯一の鉄道駅

明治28年11月4日、JR常磐線の前身である日本鉄道の土浦―友部間が開通した。羽鳥駅はその1ヵ月後となる12月1日に開業した。

駅構造は2面3線。木造駅舎がトレイドマークだったが、平成29年度から、橋上駅舎及び自由通路の設置工事がスタートした。昨夏に駅舎と通路の一部が供用を開始し、今年2月に全面供用開始となった。それまで、駅の東側に住む人は、駅の南側にあった陸橋を渡って西側の改札を通り、上り方面の列車を利用するには再び駅内の階段を登る苦労があった。それだけに、エレベーターの付いた橋上駅舎の実現は、市民の念願だった。東口では宅地開発も進んでおり、橋上駅舎の恩恵を受ける人はこれからさらに増えそうだ。

現在は東口、西口のロータリーなど駅前広場の整備が行われており、令和3年春にはすべての工事が完了予定となっている。



●冬の使者・白鳥(池花池)
写真提供/小美玉市

●遠州池(水神宮弁財天)

●佐竹義政の首塚

●希望ヶ丘公園(コスモス畑)

●池花池

●四季の里

ふるさと紀行 周辺マップ

コースは季節を問わずに楽しむことができます。新型コロナウイルス感染拡大等の状況を考慮しながら、散策をお楽しみください。

コスモス:9月中旬～10月中旬
菜の花畑:3月中旬～4月中旬



江戸時代に灌漑用水用の溜池として築かれた池。渡り鳥の休息地として白鳥が飛来するようになった。

佐竹氏を攻め滅ぼそうとする源頼朝と会見するため、常陸太田から国府に向かった佐竹義政は、園部川に架かる大矢橋で謀殺された。

小美玉市の市花はコスモス。公園にはコスモス畑が隣接し、秋には約500万本が咲き誇る。春には菜の花が一面を黄色く染める。

多くの自然が残る池花池には白鳥の観察スポットになる棧橋があり、人々の目を楽しませてくれる。

敷地内には四季文化館みの〜れや小美玉市の健康・福祉の拠点である四季健康館などがある。

● 散策コース ●

冬の小美玉市には白鳥が飛来する。「羽鳥」の地名は白鳥の飛来地にぴったり。まずは遠州池と池花池を目指す。例年冬が近づくと白鳥が訪れ、朝夕にはそれぞれの池を行き来する優美な姿を見ることができる。桜の名所・遠州池から望む筑波山の姿は美しく、池のほとりには水神宮弁財天の社がある。四季の里に近い池花池は野鳥が多く、オオタカなどの猛禽類やカワセミを見かけることもある。

次は四季の里へ。四季文化館みの〜れや四季健康館、芝

生広場があり、第1回全国ヨーグルトサミットはここで開催された。市内の各地には、名産のヨーグルトを食べたり、買ったりできる場所も多いので、気になる店を見つけたら味わってみよう。

県道52号線を南下すると希望ヶ丘公園がある。多目的広場やスポーツ施設があり、さまざまなイベントも開催される。公園で休憩したら石岡小美玉スマートインターチェンジ方面へ。園部川のほとりには佐竹義政の首塚がある。ひっそりとほころがあり、南側の行里川には冢塚もあったという。駅に戻る途中には地域の崇敬が厚い鹿島神社が鎮座する。駅周辺で開催される「羽鳥祇園祭」はこの神社の祭礼で、珍しい船型の山車も地域を練り歩く。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社/〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp